

宮城県感染症発生動向調査情報

平成30年5月24日発行

— 2018.5.14～2018.5.20 — 第20週 —

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第17週	第18週	第19週	第20週
水痘	2 0.40	3 0.30	3 0.60	3 1.50	2 0.67	1 0.20		10 0.37	24 0.41	464	○	レ	○	レ
流行性耳下腺炎				1 0.50	1 0.33	1 0.20		4 0.15	7 0.12	67				
感染性胃腸炎	25 5.00	72 7.20	24 4.80	28 14.00	12 4.00	31 6.20		245 9.07	437 7.41	5,013	◎	◎	◎	◎
手足口病	2 0.40		1 0.20				3 1.50	6 0.22	12 0.20	203				
伝染性紅斑		2 0.20		13 6.50	1 0.33			6 0.22	22 0.37	99				
突発性発しん	2 0.40	7 0.70	5 1.00		2 0.67	6 1.20	1 0.50	15 0.56	38 0.64	514	○	○	○	○
ヘルパンギーナ								2 0.07	2 0.03	17				
インフルエンザ	9 1.13	9 0.60	4 0.50		9 1.80	4 0.50		16 0.36	51 0.54	33,922	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱	3 0.60	5 0.50		5 2.50	1 0.33	5 1.00		15 0.56	34 0.58	310				○
流行性角結膜炎	1 1.00	5 1.67	1 1.00						7 0.58	65				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36 7.20	34 3.40	11 2.20	13 6.50	6 2.00	49 9.80		102 3.78	251 4.25	3,709	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎				5 5.00					5 0.42	69				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	14 2.80	2 0.20	1 0.20	1 0.50			3 1.50	21 0.78	42 0.71	605	○	レ	○	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								1 0.20	1 0.08	23				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1												
	川崎病													
	不明発しん症			1					8					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 2例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 女性1名
石巻管内 女性1名
仙台管内 男性3名
結核(無症状病原体保有者)
仙台管内 女性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O不明)

大崎管内 男性1名

4類感染症: 報告なし

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症(*K.pneumoniae*)

塩釜管内 男性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
仙台管内 男性1名
梅毒
気仙沼管内 男性1名(第19週)
破傷風
仙台管内 男性1名(第19週)
百日咳
石巻管内 男性1名
風しん
石巻管内 女性1名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[伝染性紅斑]

栗原管内で警報レベルを超えました。

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

仙南管内で警報レベルを継続中です。

石巻管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第17週採取分 (4.23～4.29)	第18週採取分 (4.30～5.6)	第19週採取分 (5.7～5.13)
インフルエンザウイルスA(H3)型	1件	0件	0件
RSウイルス	1件	2件	1件
ヒトメタニューモウイルス	1件	3件	0件
アデノウイルス	2件	0件	1件
パラインフルエンザウイルス3型	0件	1件	0件

4. 今週のコメント

【感染性胃腸炎】

5月に入り県内の患者報告数は増加傾向となっています。県内の小学校等で感染性胃腸炎の集団感染事例が多発しており、患者からノロウイルスをはじめとする各種の胃腸炎を引き起こすウイルスが検出されています。特に仙台市内では患者報告数が増加しています。ノロウイルスの感染経路は、ほとんどが手指や食品などを介しての経口感染です。感染後、24～48時間で嘔吐、吐き気、下痢、発熱などの症状が現れます。ヒト-ヒト感染予防のため、感染者の糞便や吐物の処理には十分注意し、手洗いなどの基本的な感染性胃腸炎予防対策に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

